

学習案内 第2学年 【 美術 】

1. 学習目標

- 美術における対象のとらえ方を理解し、意図に応じて表現方法を工夫し創造的に表すことができるようになる。
- 自然の造形、美術作品のよさや美しさ、表現の意図や工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ることができるようになる。様々な美術文化に触れ、見方や感じ方を深められるようになる。
- 学んだことを生かし心豊かな生活に進んで生かしてみよう。

2. 学習内容と学習のねらい

月	単元名（学習内容）	学習のねらい
1 学 期	「絵画や彫刻など」 ◇身近なものを描く◇ ○形や色彩を観察し、奥行き表現方法を知り描き方を工夫して表す。 ◇形と色彩が織りなすイメージ◇ ○形や色彩を主役に表現し抽象画にチャレンジする。。 「鑑賞」 ○西洋絵画を主体的に鑑賞する	・形や色彩を観察し、とらえ方を理解し描き方を工夫して表す。 ・奥行や立体感、心象を色彩で工夫している。 ・表現材料の使い方を自分の考えで工夫できる ・形や色彩が感情にもたらす効果を理解し、感じ取ったり考えたりしたことから表現の構想を練り抽象的な表現を工夫できる。 ・イメージにつながるよう筆の運びや筆跡を工夫できる。 ・水彩(透明感のある色彩材料を重色によるグラデーション、にじみ、ぼかしによる偶然の要素を生かすことができる。 ・印象派、ロマン主義、ルネサンスの美術などの諸外国の文化に興味を持ち国際理解、美術文化に対する見方考え方を深めることができる。
2 学 期	「デザインや工芸など」 ◇生活に生きる伝統工芸◇ ○伝統工芸のデザイン性や技術に関心を持ち、蒔絵に触れ、工夫して表現する 「絵画や彫刻など」 ◇生命感あふれる表現・手を作る◇ ○人の持つ手の表情や動きに気づき、立体として表現する。 「鑑賞」 日本の伝統美術に関心を持ち主体的に鑑賞する	・伝統工芸を生かした文様のデザインを工夫できる。 ・伝統文化を鑑賞し蒔絵の簡易な形の技法を試みることができる。 ・人体のとらえ方を理解し表し方を工夫できる。 ・手のポーズ、動きから表したいことを考えることができる。 ・表したいものの質感をとらえ自分で工夫しモデリングができる ・絵巻物、琳派、浮世絵など日本の美術作品などから良さ美しさを感じ取り、見方や感じ方を深めることができる。
3 学 期	「デザインや工芸など」 ◇ポスターで伝える◇ ○伝えたい内容から構想し、配色、レイアウト、書体学び伝えたい内容を効果的に表現する。 「鑑賞」○ピカソ 池田学 ダミアンハーストに関心を持ち主体的に鑑賞する	・ポスターの機能や意図について理解できる ・伝えたい内容や相手に会ったポスターを考えることができる。 ・レイアウトや配色、書体などの視覚的効果について学び、制作に生かすことができる。 ・アクリル絵の具の特性を生かし表現方法を工夫することができる。 ・生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考え、見方を深めることができる。

3. 評価の観点と方法 （三つの観点を総合的に判断して評価します。詳細は単元ごとのプリントに記載）

	知識及び技能	思考力、表現力、判断力など	学びに向かう力、人間性など
評価の方法	・形や色彩、材料、光などの性質やそれらが感情にもたらす効果などを理解している ・材料や用具の生かし方などを身に着け意図に応じて工夫して表している。 ・材料や用具の特性化などから制作の順序などを考えながら見通しをもって表している。 ・造形的な特徴などを基に全体のイメージや作風などをとらえることを理解している	・対象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさをもとに主題を生み出し全体と部分との関係を考え、創造的に構成、こころ豊かに表現する構想を練っている。線や形、色彩を工夫して表すことができる。 ・伝える目的や条件などを基に用いる場面社会とのかかわりから主題を生み出し、伝達の効果と美しさを総合的に考え表現構想ができる。 ・日本の伝統的な造形表現を生かし、工夫し表現することができる。	・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に目的や機能などを考えた表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・主体的に感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている ・主体的に作品や美術文化などの鑑賞の学習活動に取り組もうとしている

